

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

倫理委員会番号	特例掲出
研究課題名	口腔ケア推進の一環としての口腔ケアラウンド定着にむけた取り組みと課題 ―入院患者の口腔清掃状況と看護師の口腔ケアへの意識の変化―
所属科	千葉県こども病院 看護局
研究責任者	NICU・GCU 病棟 藤岡直子、日色敏恵、7 階病棟看護師長 北澤和子
研究期間	承認後～2025 年 7 月 6 日 日本小児看護学会 第 35 回学術集会発表後まで
研究概要	<p>○目的</p> <p>A 病院では口腔ケア推進の一環として、2018 年から歯科医師と NST インチャージナースが協働して口腔ケアラウンドを行い、入院患者の口腔清掃状況のスクリーニングを開始しました。小児を対象とした口腔ケアラウンドの前例がないことから、NST インチャージナース会で口腔ケアラウンドの方法、要治療者への支援体制の整備等、口腔ケアラウンド定着にむけて取り組みました。入院患者の口腔清掃状況、看護師の口腔ケアへの意識の変化を調査し、口腔ケア推進の一環としての口腔ケアラウンドの効果や課題を明確にしたいと考え、研究を行いました。</p> <p>○対象</p> <p>2023 年 6 月から 2024 年 5 月までに A 病院入院中に口腔ケアラウンドを受けた患者、及び、2024 年に A 病院に在職し、7 階、6 階、5 階、HCU、4 西、4 東、ICU、NICU、産科病棟で口腔ケアに関わった看護師が対象です。</p> <p>○方法</p> <p>A 病院で 2018～2024 年に、口腔ケアラウンド定着に向けて NST インチャージナース会で取り組んだ内容をまとめます。2023 年 6 月から 2024 年 5 月までに口腔ケアラウンドを受けた、のべ患者 764 名の口腔清掃状況の単純集計、2024 年 11 月に病棟で口腔ケアに関わっている看護師を対象に行った、口腔ケアに関するアンケート調査を分</p>

	<p>析し、口腔ケアラウンドの効果、課題を明確にします。</p> <p>○利用する項目</p> <p>「口腔ケアラウンド日に入院していた対象者数」、「口腔ケアラウンドができた人数」、「口腔ケアラウンドができなかった人数」、「口腔内がきれいだった人数」「齲蝕・歯肉炎・口角炎・口内炎があった人数」、「仕上げ磨きが必要と判断された人数」「歯科受診が必要と判断された人数」「歯科受診が必要と判断された理由」「歯科受診ができた人数」「口腔ケアラウンドができなかった理由」「歯科受診につなげられなかった理由」</p>
<p>倫理的配慮・個人情報の保護の方法について</p>	<p>本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。</p> <p>研究の結果を公表する際は、対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた情報を使用しません。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問い合わせ先までご連絡ください。この調査へのご自分の診療録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、担当医あるいは下記にお申し出ください。</p>
<p>研究の問い合わせ先</p>	<p>千葉県こども病院 看護局 7階病棟看護師長 北澤和子</p> <p>〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1</p> <p>TEL: 043-292-2111</p>
<p>結果の公表について</p>	<p>個人情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。</p>